

## 小樽市経済動向調査結果

1. 調査期間：2026年1月から3月
2. 調査対象：小樽市内の企業258社
3. 内 訳：製造業55、卸売業27、小売業41、運輸・倉庫業20、観光業44  
サービス業39、建設業32
4. 回答企業数：120社（46.5%）
5. 調査方法：調査票によるアンケート

※DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは・・・

好転（増加）企業割合から悪化（減少）企業割合を差し引いた値のことで、この数値がプラスかマイナスか、そしてその大きさによって景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

### 概 況

ー業況DIは3期ぶりのプラス水準であったが、売上DIは16期ぶり、採算DIは4期連続のマイナス水準にー  
前年同期（2025年1月～3月）と比べた今期（2026年1月～3月）の状況  
今期と比べた来期（2026年4月～6月）の予想

全業種における企業の景況感を示す業況判断DIは2.2で、前年同期比で5.3ポイント低下しました。主要3項目のうち、業況DIは3期ぶりのプラス水準となりましたが、売上DIは16期ぶり、採算DIは4期連続のマイナス水準となりました。来期の業況DIは1.1ポイント低下ながらもプラス水準、売上DIはプラス水準、採算DIはマイナス水準になると予想されています。

製造業では、売上DIが前年同期比28.9ポイント低下の▲26.1、採算DIは同10.5ポイント低下の▲33.4、業況DIは同8.0ポイント上昇の▲8.7ポイントとなりました。

卸売業では、売上DIが同62.0ポイント低下の▲35.7、採算DIは同33.9ポイント低下の▲28.6と、ともに30ポイント以上の低下となり、マイナスに転じました。業況DIは同7.1ポイント上昇の7.1となりました。

小売業では、売上DIが同45.4ポイント上昇の45.4、採算DIは同7.3ポイント上昇の27.3、業況DIは同21.4ポイント上昇の36.4となり、いずれもプラスとなりました。

運輸・倉庫業では、売上DIが同31.1ポイント低下の14.3、採算DIは同57.7ポイント低下の▲7.7、業況DIは同38.4ポイント低下の▲7.1となり、いずれも30ポイント以上の低下となりました。採算DIと業況DIはマイナスに転じました。

観光業では、売上DIが同73.4ポイント低下の▲4.8、採算DIは同74.2ポイント低下の▲42.8、業況DIは同65.7ポイント低下の▲14.3となり、いずれも60ポイント以上の低下によりマイナスに転じました。特に、利用客数DIについては68.5から▲33.4へ101.9ポイントの大幅な低下となりました。

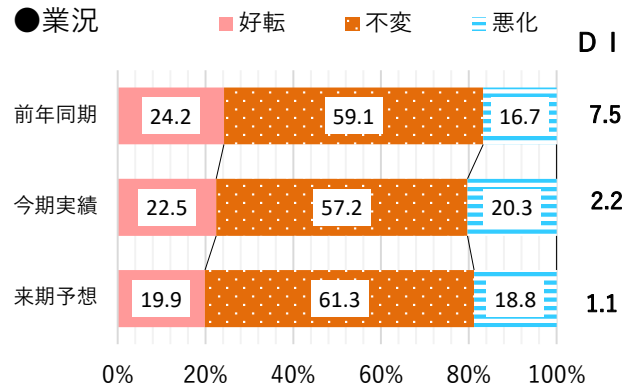
サービス業では、売上DIは変化なしの0、採算DIは同6.1ポイント上昇の▲5.0、業況DIは同10.0ポイント低下の▲10.0となりました。

建設業では、売上DIが同8.4ポイント上昇の▲5.9、採算DIは同10.8ポイント上昇の▲17.7、業況DIは同40.3ポイント上昇の11.8となりました。

業況、売上、採算

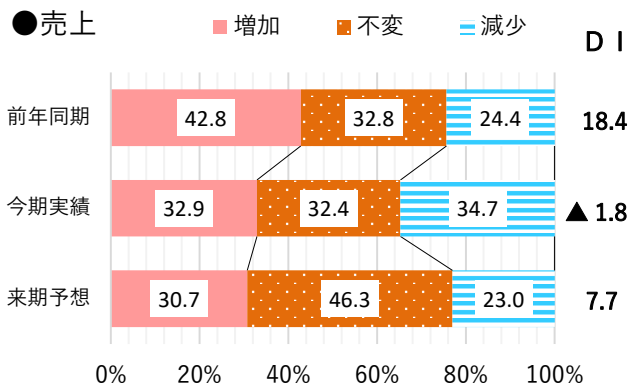
今期（2026.1～3）の業況DIは2.2で、前年同期（2025.1～3）と比べ5.3ポイント低下しました。

来期（2026.4～6）の業況DIは今期（2026.1～3）と比べ1.1ポイント低下すると予想しています。



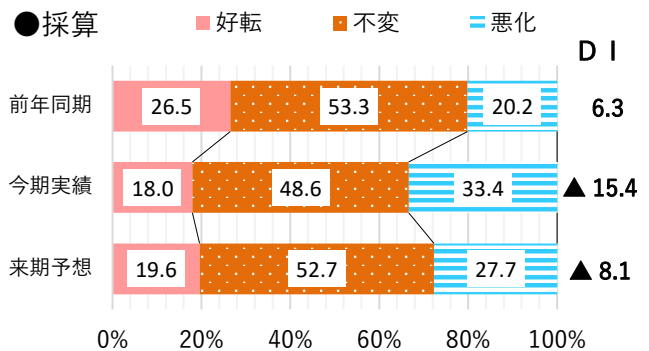
今期の売上DIは▲1.8で、前年同期と比べ20.2ポイント低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ9.5ポイント上昇すると予想しています。

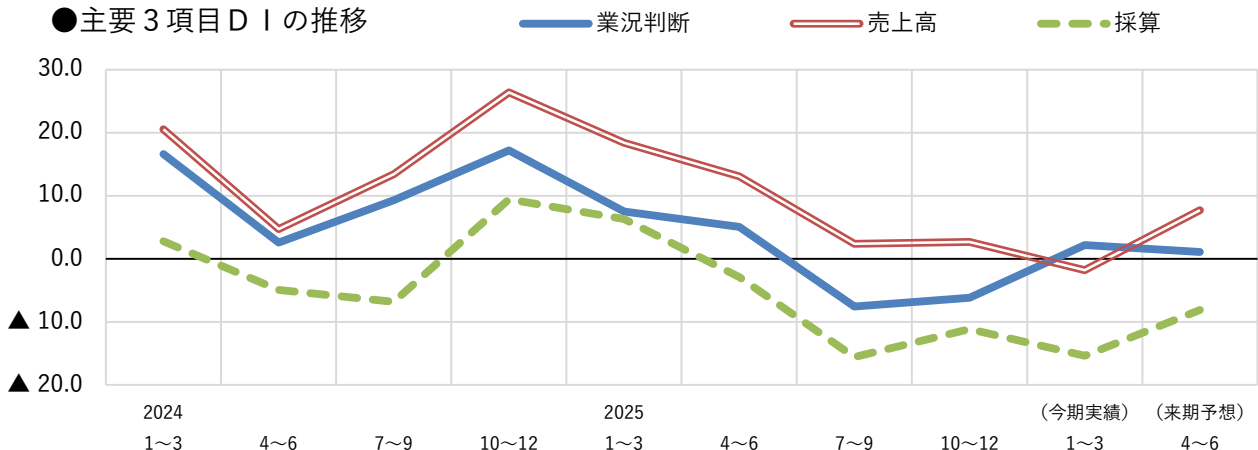


今期の採算DIは▲15.4で、前年同期と比べ21.7ポイント低下しました。

来期の採算DIは今期と比べ7.3ポイント上昇すると予想しています。



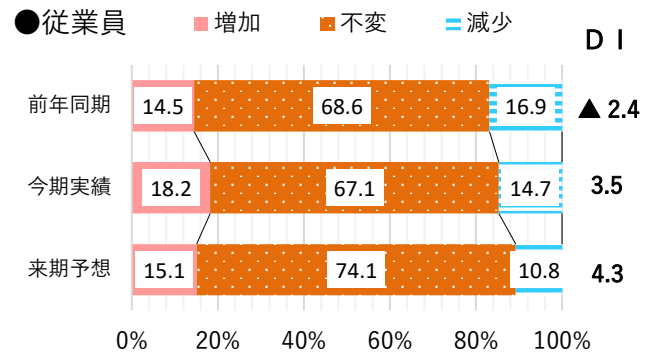
●主要3項目DIの推移



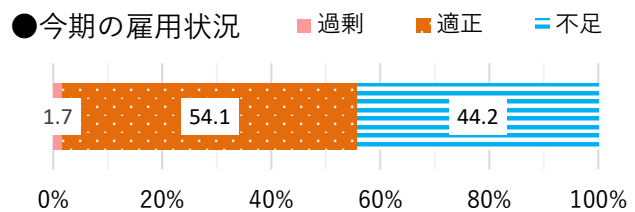
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは3.5で、前年同期と比べ5.9ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは今期と比べ0.8ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業は1.7%、適正であると回答した企業の割合は54.1%、不足していると回答した企業の割合は44.2%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、37.5%を占めました。

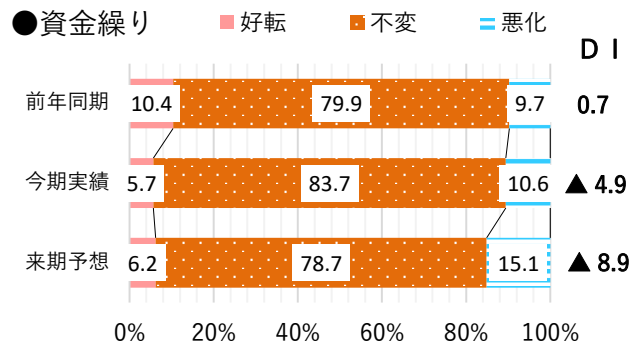
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	14.2%
	不足	3.3%
不変だった	過剰	1.7%
	適正	37.5%
	不足	28.3%
減少した	過剰	0%
	適正	2.5%
	不足	12.5%

※回答総数120社

資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲4.9で、前年同期と比べ5.6ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ4.0ポイント低下すると予想しています。



今期の設備投資は39.5%が実施と回答し、前年同期と比べ0.5%低下しました。投資内容は、1位が「車両・輸送機材」、2位が「OA機器」でした。

来期は41.2%が設備投資を計画していると回答しています。

